

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	国保人間ドック事業							事業コード	450259			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり				
	施 策 名	2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進						施策コード	522			
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課					所属長	貴田 直子				
会計情報	款	05 保健事業費	項	02 保健事業費	目	02 疾病予防費		会計	02 国保	決算附属資料	282	頁
計画期間	開始年度	昭和59年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	国民健康保険特定健康診査等実施計画				R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法 ほか											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☒ その他 (国民健康保険法に基づく事業)											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・被保険者の健康増進と医療費の抑制は保険者にとって最大の目的であるが、疾病の重症化を予防するためには、定期的に自身の健康管理を行う習慣を身につけることが必要である。健康診査とがん検診が同時に含まれる総合的な健診を、生活習慣病及び悪性新生物の早期からの発見、また重症化予防を目的として行うことにより、被保険者の健康の保持増進を図る。					
対象者	福知山市国民健康保険被保険者(30歳以上)		対象者数	11,098	単位あたりコスト	1.8
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	19,950		20,161		20,140		19,480					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		19,950		20,161		20,140		19,480					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	19,950		20,161		20,140		19,480					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	19,950		20,161									
	③ 執行額	17,959		17,160									
	④ 執行率	90.0%		85.1%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.30	/	0.00	0.32	/	0.00			/			
	② 概算人件費	2,400		2,560									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		20,359		19,720									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	人間ドック分繰入金		種類	一般会計繰入金		14,277		決算附属資料	274		頁
			一般保険料医療・現年分			国民健康保険料		2,882			272		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標		単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	生活習慣病の占める国保医療費割合		%	19.8	/	19	19.6	/	19	18.3	/	19
	継続受診者割合(2年連続)		%	70.3	/	80	64	/	80	65.9	/	75
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標		単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	人間ドック受診者数		人	735	/	920	810	/	900	780	/	890
	単位あたりコスト			22.2		22.2		22.0				
	受診啓発回数(個別勧奨含)		回	3	/	3	4	/	3	5	/	3
		単位あたりコスト		5432.7		4489.8		3432.0				国保人間ドック事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・健康診査とがん検診を同時に受診することができるようにすることで、疾病の早期発見、早期治療につなげた。 ・医療費を抑制するため、国保加入者自らが健康に関し生活習慣の改善に対する意識を高めることができた。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・診療報酬に準じた額で福知山医師会指定の医療機関に検査を委託し、受診者の自己負担金については他の健診との負担額を考慮し設定している。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・人間ドックを受診することで身体の異常を発見して治療につなげることができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・特定健診を含めて、被保険者の健康増進と疾病の重症化予防、将来の医療費を抑制するための事業である。取得した情報は、健康管理システムにおいて管理を行い、特定保健指導が必要な人には案内を送付し、生活習慣改善に向けての指導を行っている。国保医療費における生活習慣病割合は横ばいであるが、引き続き指導を継続し、重症化の予防に努める。 ・人間ドックは特定健診との重複受診はできないため、特定健診受診者数とあわせて見ていく必要がある。 ・人間ドック事業だけでは、医療費の抑制や生活習慣病の発症の有無の効果を判定することが困難。 ・疾患の重症化予防ができ、将来的に医療費の抑制が期待できるため有効。		
改 善 策	・各種媒体を利用した広報により、特定健診も含めて受診者のさらなる増加、定期的な健康管理の習慣づけを目指し、個別通知等の啓発を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	・引き続き人間ドックを実施し、被保険者の生活習慣病予防等に寄与していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	特定健康診査等事業							事業コード	450288			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり				
	施 策 名	2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進						施策コード	522			
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課					所属長	貴田 直子				
会計情報	款	05 保健事業費	項	01 特定健康診査等事業費	目	01 特定健康診査等事業		会計	02 国保	決算附属資料	282	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	国民健康保険特定健康診査等実施計画				R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律 ほか											
事業区分	☒ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・被保険者の健康増進と医療費の抑制は保険者にとって最大の目的であるが、疾病の重症化を予防するためには、定期的に自身の健康管理を行う習慣を身につけることが必要である。生活習慣病予防を目的とした健診を受け、身体の異常を早期に発見し、専門職による保健指導を行い、または医療機関受診へつなげることで、被保険者の健康を維持し、重症化に伴う医療費の増大を抑制する。				
対象者	福知山市国民健康保険被保険者(40歳以上)	対象者数	10,364	単位あたりコスト	5.1
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	62,307		62,588		63,932		65,754						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
		前年度繰越	0		0		0							
		次年度繰越	0		0									
	小計(①～③)		62,307		62,588		63,932		65,754					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	47,856		45,398		49,905		54,654						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	14,451		17,190		14,027		11,100						
	決算情報	① 流充用額	0		0									
② 配当予算		62,307		62,588										
③ 執行額		51,396		51,994										
④ 執行率		82.5%		83.1%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.09	/	0.00			/				
	② 概算人件費	0		720										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		51,396		52,714										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	特定健康診査等負担金		種類	保険給付費等交付金		実績金額	17,772		272	頁		
			特別調整交付金(市町村分)			保険給付費等交付金			5,918				決算附属資料	272
			特定健診等自己負担金			雑入			121					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	生活習慣病の占める国保医療費割合	%	19.8	/	19	19.6	/	19	18.3	/	19
	継続受診者割合(2年連続)	%	73.5	/	78	70.8	/	78	71.6	/	78
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	特定健康診査受診率(法定)	%	33.7	/	41	36.8	/	38	32.0(見込)	/	44
	単位あたりコスト		1463.6		1396.6		1624.8				
	特定健康診査受診率(独自)	%	26.6	/	30	29.1	/	30	28.3	/	33
		単位あたりコスト	1854.2				1837.2				

特定健康診査等事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・法令により平成20年から各保険者に対し実施が義務付けられたものであるが、本市の健康課題である高血圧・糖尿病をはじめとする生活習慣病を改善し、重症化を予防するために健診実施に取り組んだ。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・個別健診を行い、受診しやすい環境を提供している。また、集団健診では送迎タクシーを配車するなど、交通手段がない人についても受診できるよう工夫を行っている。500円の負担金設定で受診しやすくしている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・被保険者の健康保持、医療費支出の高騰抑制に資するため、健診受診のための啓発や未受診者勧奨など、健診受診率向上に取り組んだ。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・国が掲げる市町村国保目標受診率60%に対する達成度が低く推移しているが、制度が開始となった平成20年度の受診率21.9%と比較すると増加している。令和2年度～令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり受診者数が低調であったが、健診を受診することで生活習慣病の予防に寄与するため、一定の評価ができると考える。 ・特定保健指導では若年層へのアプローチとして時間指定での保健指導を個別案内したところ、保健指導修了者が、令和2年度の44人(対象者の10%が終了)に対して、令和3年度は76人(対象者の16%)に増加し、効果が得られた。(令和4年度の法定報告実績は令和6年1月頃に確定する予定。)なお、時間指定は利用希望者の都合に合わせて柔軟に対応できている。 ・今までに健診を受けたことがない特定健診未受診者層に向けたアプローチが課題。効果的な受診勧奨により特定健診受診者数を増やす必要がある。		
改 善 策	・継続受診者の他に、健康意識の低い、または健康だと思っているため今まで特定健診を受けたことがない、特に若年層に多い特定健診未受診者層に向けたアプローチや啓発が必要であり、継続的な課題である。若年層に向けた啓発方法として、SNSを活用した広報やイベント、また企業と連携した啓発等を実施していく。 特に、未受診者勧奨事業では、未受診者にとって、受診の後押しとなるようなメッセージや、電話での直接的な呼びかけを取り入れ、受診勧奨効果を高めることで受診者数を増加させる。 ・特定健診受診歴や病院受診歴がない被保険者に対して、健診受診や病院受診に行動を移すようなきっかけづくりを検討し、また特定保健指導については、医療機関とも連携してタイミングを逃さない利用勧奨を行い、ターゲット層に合わせた指導方法を検討し実施していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	・引き続き特定健診を実施し、被保険者の生活習慣病予防等に寄与していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:)	☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	糖尿病腎症重症化予防事業							事業コード	450293			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり				
	施 策 名	2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進						施策コード	522			
事業担当	所属	05040000 市民総務部 保険年金課					所属長	貴田 直子				
会計情報	款	05 保健事業費	項	02 保健事業費	目	02 疾病予防費		会計	02 国保	決算附属資料	282	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市国民健康保険保健事業計画				R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法、京都府版糖尿病性腎症重症化予防プログラム、保険者努力支援制度											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・糖尿病から腎症への移行を遅延させるためには、早期からの糖尿病の発見及びコントロール(治療)が必要になる。本事業により腎症への移行、糖尿病の重症化を予防することで、人工透析の新規導入数を減少させ、医療費の抑制、被保険者のQOLの向上を目指す。				
対象者	福知山市国民健康保険被保険者(40歳以上)	対象者数	10,364	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	223		274		274		318				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		223		274		274		318				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	223		274		274		318				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	223		274								
	③ 執行額	159		13								
	④ 執行率	71.3%		4.7%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.07	/	0.00	0.07	/	0.00	/				
	② 概算人件費	560		560								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		719		573								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	特別調整交付金(市町村分)		種類	保険給付費等交付金		13		272	決算附属資料	頁
						実績金額						

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	医療機関受療率(①未治療②治療中断)	%	①8.3②28.0	/	①55②50	①25②18.2	/	①15②35	①40②20	/	①50②25	100
	新規透析導入者(社保離脱加入除く)	人	4	/	0	5	/	3	10	/	0	0
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	関係者との連携回数	回	3	/	3	3	/	3	3	/	3	3
	単位あたりコスト		53.0		53.0		4.3					
	①通知率②訪問実施率	%	①100②20	/	①100②100	①100②66.7	/	①100②30	①100②21	/	①100②70	①100②100
	単位あたりコスト		0.0		①0.1②0.2		①0.13②0.6					

糖尿病腎症重症化予防事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・健診受診者からハイリスク者を抽出し、治療を勧奨することで被保険者の早期治療につなげることができた。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・国保連合会のデータを活用して対象者を抽出しており、コストは抑えられた。 ・委託した場合の費用対効果が低いと考えられるため、未治療者や治療中断者へは直接受診勧奨や保健指導を行うことで医療受診につなげる。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・年度によって受診率の変化はあるものの、人工透析を導入した場合、患者一人あたりの人工透析にかかる医療費が高額になるため、透析導入を避けるために保健所や福知山医師会などの関係機関と連携をとり重症化を防ぐ事業を進めた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・健康医療課と事業内容の共有を行い連携を行いながら実施、他事業執行残の消耗品を活用することで歳出を抑制した。 ・本市の国保糖尿病患者数は1,510件(令和4年12月分)であり、増加傾向にある。 ・高血糖未受診者への再勧奨のため、訪問や電話連絡を実施。生活状況や治療状況などを把握した上で、対象者に応じた保健指導を行う。 ・直近6か月間の糖尿病治療中断者にも受診勧奨を実施。アンケートも同封し治療を行っていない理由を把握しながら治療中断者を受診につなげるための工夫を行う。 ・糖尿病治療中の人で腎症発生の可能性が高いハイリスク者への保健指導をR3年度から実施しているが利用実績は0人。腎症発症を予防するためにもハイリスク者への保健指導は重要。 ・受療率は医療再開の直接的指標となり、また医療機関への受診は、レセプトを確認することで把握ができるため、適切な指標であると考ええる。 ・糖尿病性腎症は増加しており、それに伴って透析導入者が増加している。本事業を継続することで早期発見や生活習慣の見直しにつながるため、一定の効果はあると考える。		
改 善 策	・健康医療課や保健所、医師会の協力は必要不可欠であるため、情報共有し、事業を実施していく。生活指導については保健師や栄養士による適切な指導を行う必要がある。 ・令和4年度も京都府のモデル事業に参画し、ICT(アプリ)を活用した事業展開を行ったが利用者はいなかった。医師からの利用候補者の紹介なしには事業展開が行えないため、利用候補者の推薦が医師の負担とならない形となるよう検討していく必要がある。地区医師会の承諾を得た上で施策展開することが重要であるため、市の現状を共有するなどして協力が得られるように丁寧な説明を重ねていく。 ・令和5年度はハイリスク者への保健指導を実施できるよう福知山医師会症例検討会にて事業説明を実施予定、国保連保健事業支援・評価委員会にて助言を受け事業の周知・見直しを図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	・引き続き、健康医療課や保健所、医師会と情報共有・連携しながら被保険者へ適切な指導が行える体制等を維持する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	成人健康診査事業							事業コード	410357					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施 策 名	2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進						施策コード	522					
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課					所属長	田和 昌弘						
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算附属資料	166	頁
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	健康増進計画			R5現在の状況		継続中	
根拠法令等	健康増進法、福知山市健康診査事業実施要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	40歳以上の生活保護受給者等無保険者に対し、健診の機会を保障することにより、高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病を早期に発見し、食事・運動・禁煙など生活習慣改善を図り、疾病を未然に防ぐことを目的とする。					
対象者	40歳以上の生活保護受給者等無保険者		対象者数	677	単位あたりコスト	5.1
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	782		796		796		763				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		782		796		796		763				
予算財源内訳	① 一般財源	424		438		415		330				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	358		358		381		433				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	782		796								
	③ 執行額	656		611								
	④ 執行率	83.9%		76.8%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.38	/	0.04	0.35	/	0.01			/		
	② 概算人件費	3,140		2,825								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,796		3,436								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	健康増進事業		種類	衛生費府補助金		実績金額	266		28	頁
									決算附属資料			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	要医療者受診率(集団健診)	%	該当者なし / 100		100 / 100		100 / 100		/ 100		100
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	受診者数	人	45	/	60	49	/	60	42	/	60
	単位あたりコスト		14.6		13.4		14.5				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		成人健康診査事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	健康増進法に基づき実施。 健診を受診し、本市に多い高血圧をはじめとした生活習慣病の早期発見・早期治療を行うことは健康な生活を送るために必要不可欠である。特に生活保護受給者等無保険者は食事等が偏りやすい傾向にあり、健診で健康状態を把握することは重要である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	生活保護等の無保険者で市が把握している対象者に対して、受診しやすいように個別医療機関で受診できる受診票を社会福祉課からの個別通知に同封して送付した。 全受診者の内、7割が個別健診を受診した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	生活習慣病の早期発見・早期治療を行うことで、長期的にみて医療費の削減につながると考えるが、成果が出るまでには時間を要する。 要医療者には、医療機関での受診を促し、適切な医療につながっている。 健診結果は社会福祉課と共有し、必要があれば同伴で指導等を実施している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・健診受診者の約3割は、判定結果が要医療となり、新たに治療が必要な疾患が見つかった。また、貧血、肝臓、腎臓で異常値の割合が高い傾向にあり、特に食生活についての指導が必要と考えられる。こうしたことから、訪問等による指導や受診勧奨のより一層の強化が必要であり、ケースワーカーとの連携が益々重要である。		
改 善 策	個別健診受診票の個別通知は継続し、新規受診者や継続受診者を増やしていく。社会福祉課と連携し、ケースワーカーからも直接受診勧奨を行う。また、40歳以上の生活保護受給者等無保険者は循環器(血圧、脂質)の健康課題が多い為、社会福祉課と連携し、健康だよりの発行時には栄養士の視点も入れるなど、食生活を主とした生活習慣を改善できる方法を検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	高血圧制圧のまちプロジェクト事業										事業コード	410389				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり							
	施 策 名	2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進								施策コード	522					
事業担当	所属	15050000 福祉保健部 健康医療課						所属長	田和 昌弘							
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	04 保健指導費		会計	01 一般会計		決算附属資料	166		頁
計画期間	開始年度	令和3年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市健康増進計画						R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市健康増進計画															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	医療データの分析により、高血圧症の患者が京都府平均より多く、また、中丹管内の近隣市と比べても多い傾向にあることが判明している。市民の健康寿命を延伸するために、脳血管疾患や心疾患、腎臓病や認知症等多くの疾病リスクを高める高血圧症予防に関する取り組みを早い段階から実施し、市民が主体的に取り組む健康づくりを推進する。				
対象者	全市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,384		1,311		2,601		2,156					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		1,384		1,311		2,601		2,156					
予算財源内訳	① 一般財源	692		1,311		2,601		2,156					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	692		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		42									
	② 配当予算	1,384		1,353									
	③ 執行額	261		804									
	④ 執行率	18.9%		59.4%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.75	/	0.40	0.91	/	0.44	/					
	② 概算人件費	7,000		8,380									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,261		9,184									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	高血圧制圧のまちプロジェクト事業(きょうと地域連携交付金)			種類	衛生費府補助金		実績金額	402		28	頁
										決算附属資料			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	疾病別標準比(京都府が1.0)	ポイント	0	/	0	1.23	/	1	1.25	/	1
	国保1,000人当たりの患者数	人	0	/	0	453.3	/	453.3	461.4	/	461.3
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標
	高血圧予防プログラム(講座)累計開催地区	地区	0	/	0	1	/	1	3	/	3
	単位あたりコスト		0.0		261.0		268.0				
	*健診受診ポイント付与人数(福知山KENPOS申請等)	人	0	/	0	90	/	0	834	/	1000
	単位あたりコスト		0.0		0.0		1.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・医療データから本市の特徴・課題を明確にして、各種事業を進めることができた。 ・図書館での展示、ホームページやSNS等を活用した情報発信、市内スーパー・京都府栄養士会・中丹西保健所と連携した適塩キャンペーンの開催など、様々な機会を通じて広く市民啓発に取り組めた。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・市民病院・保健所等、公的な関係機関や必要な専門職と連携し、事業を実施できている。医師の講演については、動画配信を行い、誰もが視聴できる工夫を行った。 ・給食の減塩については、全市立小中学校を対象としており、効率的な取組である。また、給食センター栄養教諭と情報共有し、学校配布物を活用した食育を行うなど、協力しながら実施した。 ・小学生を対象とした講座では、家族を巻き込んだ生活習慣改善がうかがえ効果的であった。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・市民病院と協働した予防プログラム講座は、高血圧症患者の割合が高い地域から順に実施を進めており、生活習慣改善に向けての指導や事後フォローの支援ができた。 ・減塩モニターについては、教室に参加された方を主に対象とすることで、動機付けを行った後の行動変容につながるケースが見られ、効果的であった。 ・小学生向けの講座については早い段階からの意識づけに寄与する事業となる。また、家族等への波及効果が高いと考える。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・高血圧予防の為の実践プログラムについては、広報等を工夫して今までにない参加者数で事後アプローチも行ってきた。今後もより効果を高めていくための工夫を検討する。 ・市内スーパー・京都府栄養士会・中丹西保健所と連携した適塩キャンペーンの開催や、中央図書館・SNS等での啓発、野菜メニューの考案・紹介は啓発の手法として効果的であるので、継続・推進していく。 ・給食センターと協力しながら減塩給食や食育の継続・小学生向け講座の開催など、若い世代からのアプローチを引き続き推進していきたい。		
改 善 策	・今年度の講座内容を再確認し、全市的に取り組んでいくように年次計画を立てる。 ・福知山KENPOSを活用した、生活習慣改善や健診受診勧奨に取り組む(血圧記録機能の追加)。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	・市オリジナルアプリ「KENPOS」ユーザーの血圧に関するデータ等を収集し、より幅広い年代に向けた高血圧予防の啓発事業を展開していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---